

生涯教育研修会報告書

学術部 学発番号 第11-003号

平成 23年 5月 25日 報告

報告者 : 鮎川 宏之

所属 : 医仁会武田総合病院

連絡先 : 075-572-6331

主題 : 「少し踏み込んだ腹部超音波検査」

副題 : ～放射線技師の視点から～

講師 : 平井 靖 技師

日時 : 平成23年5月25日(土) 18:30～20:00

場所 : 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

講師所属 : 三菱京都病院放 射線技術科 科長

分類 : 生体検査20点

共催等 :

全体参加人数 : 51人

京臨技のみ会員参加人数 : 11人

日臨技会員参加人数 : 37人

他府県のみ会員参加人数 : 1人(兵庫)

仮会員 : 0人

非会員 : 2人

学生 : 0人

以下、講演内容など

三菱京都病院 放射線科の平井先生に、初～中級者を対象として「少し踏み込んだ腹部超音波検査」というテーマでご講演していただいた。多数の症例を提示していただき、それぞれについてCTやMRIと比較しながら放射線技師の視点から診た腹部超音波検査の着眼点を教えていただいた。また、消化管の症例についてもPETや透視などの結果を踏まえながら超音波検査での観察ポイントをわかりやすく説明していただいた。平井先生は何度も「CTやMRIの結果を参考にしてください」と言われていた。自分の超音波所見と他のモダリティ所見との違いを確認し、学習しながら日々の検査を行うようにすることが、少し踏み込んだ超音波検査が出来るようになるための近道のひとつではないかと思う。

(2011/5/25 日比野みゆき)